

平成29年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	統合観測システムで解き明かす乱流プラズマの構造形成原理と機能発現機構
研究代表者	藤澤 彰英
研究期間	平成29年度～平成33年度
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>応募者らは、プラズマ乱流計測について、常に新しい視点による、格段に精度の高い計測と解析で、世界をリードする研究成果を上げてきた。本研究は、プラズマ発生装置、スーパー乱流トモグラフィー及び重イオンビームプローブを用いた高精度プラズマ計測システムを組み合わせ、プラズマ乱流計測に特化した統合観測システムの開発により、乱流プラズマの構造形成原理を明らかにしようとする意欲的なものである。</p> <p>乱流プラズマの基礎研究において、独創的な貢献が期待できることから、特別推進研究として採択すべき課題であると判断した。</p>